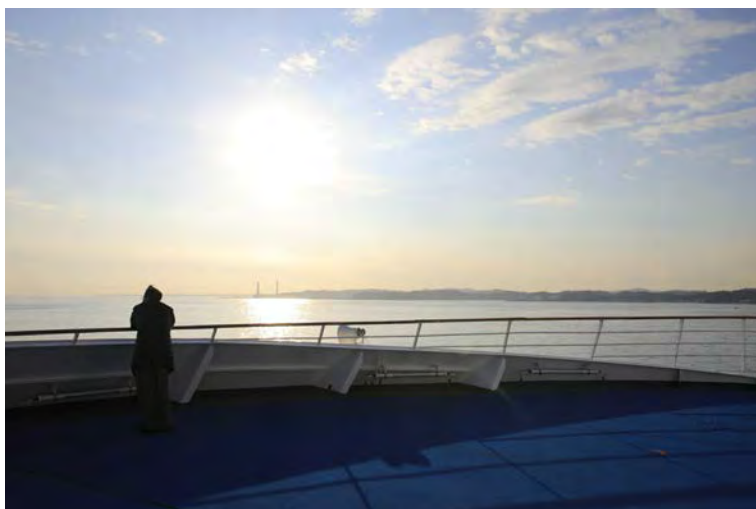


**Cruise** : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## 日曜日の大さん橋から出航

**Date** : 2018/01/28    **緯度** : N 35度 27分    **経度** : E 139度 39分    **天気** : 曇り    **気温** : 6度    **速度** : -ノット  
**海域** : -    **寄港地** : 横浜



きょう1月28日は待ちに待った飛鳥II「2018年オセアニアグランドクルーズ」の出航日。例年にも増して寒さ厳しい真冬の日本をつかの間離れ、39日の日程で温暖な太平洋の寄港地を巡ります。お客様は午前中に乗船を済ませていて、レセプション前や廊下ではすでに馴染みのお客様同士、お客様とクルーたちとの会話に華が咲いています。外は曇り空ですが船内の雰囲気は華やかです。

ターミナル屋上では楽団の演奏やキャプテンへの花束贈呈といったセレモニーも。その後、7デッキプロムナードデッキでのセイルアウェイパーティーでは色とりどりの紙テープがお客様に配られました。出港時のお約束「紙テープ投げ」は筆者も過去に度々目にしていますが、今回は特にうまく行ったようです。風のない穏やかな条件だけに、半信半疑で投げたつもりが見事にターミナル側のお子さん・お孫さんに届いたり。

「おばあちゃん、あんまり引っ張っちゃダメだよ〜！」なんていう、男の子の声も聞こえて来ました。定刻の午後2時に飛鳥IIはお見送りの方々と日曜日の人出で賑わう岸壁を滑るように離れ、先導のボートに従って横浜ベイブリッジをくぐります。浦賀水道から外海へ出ると進路を西へ。関西方面からのお客様をお迎えするべく、明日の神戸に向かって航行しています。



Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## 西日本のお客様を迎えていよいよ旅の始まり

Date : 2018/01/29 緯度 : N 34度 41分 経度 : E 135度 11分 天気 : 晴れ 気温 : 1.0度 速度 : 10.9ノット  
海域 : - 寄港地 : 神戸



昨晚の海は少し風があるものの穏やかでした。深夜3時にふと目覚めて客室テレビの航路図を確認すると、速力表示は20.7ノット（約38.3km）。筆者の過去の経験からしてもなかなか20ノットにまでは達しないと思います。飛鳥IIは快調に西へと航行し、余裕をもって紀伊水道へと進んだようです。

大阪湾の水先人を迎え入れ、11時ごろには狭い友ヶ島水道へとさしかかりました。神戸港には予定通りの午後2時接岸。およそ200名のお客様が乗船し、皆様がお揃いになりました。きょうの神戸の気温は7度。屋外デッキでのフェアウェルパーティーはとても寒かったですが、前途への期待が膨らんでのことでしょう、皆さん笑顔が絶えない様子。

17時ちょうどの出航を、雲間を割った夕日が鮮やかな茜色に染めてくれました。船はしばらくもと来た道に戻って友ヶ島水道、紀伊水道とゆき、外洋に出たところで進路を南東に向けます。これから中3日の終日航海を挟んで最初の寄港地サイパンを目指します。夜にはアスカプラザで鏡開きが行われ、船内は俄然、賑やかになってきました。



Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## フォーマルナイト

Date : 2018/01/30 緯度 : N 29度 39分 経度 : E 137度 58分 天気 : 曇り 気温 : 15.0度 速度 : 18.6ノット  
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



神戸からご乗船のお客様が加わって全員が揃い、一路太平洋を南下している飛鳥II。外はまだ寒いものの曇天の合間にちらほらと太陽も顔を覗かせて、海面を美しく輝かせてくれています。乗船後すぐは荷を解くことに忙しい方もいて船内のパブリックスペースは思いがけず静かなものですが、きょうあたり、徐々に皆さんも活動を始められているようです。

社交ダンス、ゴルフ、囲碁、コントラクトブリッジの各教室の説明会が、朝から午後にかけて船内各所で開催されました。当日中に初回の教室が始まるものもあり、船上生活の始動を実感します。午後のスポーツデッキではシャッフルボードを楽しむお客様の歓声が（写真上）。大海原を背景にして遊ぶ船ならではのゲーム、これもまた貴重な船旅の経験かもしれません。

晩はこのクルーズ最初のフォーマルナイト。キャプテンズ・ウェルカムパーティー（同右下）では、このクルーズがまさに就任して初めての航海となる堤義晴キャプテンを始め、オフィサー陣が一同に会してお客様にご挨拶。美味しいディナーのあとは、山形由美さんのコンサートでフルートが奏でる美しい音色に酔いしれました（同左下）。





Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## 鈍色の硫黄島近海をゆく

Date : 2018/01/31 緯度 : N 22度 44分 経度 : E 141度 19分 天気 : 曇り 気温 : 20.0度 速度 : 16.4ノット  
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



今朝8時50分、キャプテンによる定時の放送がかかった時には北硫黄島を左舷に遠望し、11時30分～12時ごろにかけては硫黄島を右舷目前に望んで航行しました。硫黄島の海岸線にはたなびく噴煙や自衛隊の建物が、岬の先にはお椀を伏せたような揺鉢山の姿が見えました。双眼鏡で眺める方、写真を写す方、スケッチに勤しむ方など、それぞれのスタイルでご覧になっていたようです。

昨日から各種教室が本格始動したとお伝えしたように、午後2時に三角錐の南硫黄島（写真左下）を間近に望む頃には、もはや窓外の景色には目もくれず教室に専念する方も多かったかもしれません。久保秀夫先生の囲碁教室（中級～有段）などがまさにそれ。「定石とはいえ、これが分かれば5段以上」と先生が仰る難解な手の解説を、皆さん熱心に聞き入っていました。

また、クラブ2100では同じ時間帯にクルーズスタッフの芳賀朋恵さんによるフラ教室も（同上）。フロアいっぱいのお客様が、楽しく踊って汗を流していらっしゃいました。そして今宵は珍しい皆既月食を観察するチャンス。満月から部分食が進んでゆく様子ははっきり確認できたものの（同右下）、月が赤銅色になる皆既月食はどうでしょう？ 厚い雲が広がって、ご覧になれた方は少なかったかもしれません。



**Cruise** : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## 洋上のガラスアート教室

**Date** : 2018/02/01    **緯度** : N 18度 57分    **経度** : E 143度 42分    **天気** : 晴れ    **気温** : 26.8度    **速度** : 16.4ノット  
**海域** : 太平洋    **寄港地** : 終日航海日



昨夕までは「半袖はまだちょっと気が早かったかな」と思いましたが、だいぶ南下したのか、今朝の天気はいきなり夏の様相でした。朝の時点で外気温27度。空も次第に晴れ間が増えてきて、お昼ごろには強い日差しと青い海、青い空が飛鳥IIの周囲すべてを囲んでいました。そんな絶好の船旅日和のきょう、筆者は明るい日差しが差し込むコンパスルームのガラスアート教室を覗いてみました。

教えてくれるのは尾崎稔成先生。昨日オリエンテーションがあり、予約した方のみが参加する少人数制の教室です。今回の教室のテーマはテラリウム。あらかじめ三角形や四角形、台形などに切られたガラス板を銅のテープで縁取り、それを半田づけして立体へと組み立ててゆきます。慣れない作業ではあるものの、先生にいつでも気軽に聞ける距離感が安心です。

お客様のおひとりは、ディナーの席がたまたま尾崎先生と近かったのがご縁で今回の教室に参加されたとか。船上での楽しい偶然のひとつでしょう。そして手元の作業が進むと皆ついつい無言になってしまうのですが、「何だかカニを食べてる時みたい」と誰かが言ってはひとしきり笑い、再び作業に戻ります。和気あいあいの創作のひとつきが、そこにはありました。



Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## サイパン ボン・ヴォヤージ～節分～

Date : 2018/02/02 緯度 : N 15度 14分 経度 : E 145度 44分 天気 : 晴れ 気温 : 30.5度 速度 : 13.7ノット  
海域 : - 寄港地 : サイパン



今回のクルーズで初の海外寄港地であるサイパン。入港時こそ曇りがちだったものの日中は天候にも恵まれ、汗ばむ陽気のなか、お客様はオプションツアーで史跡を巡ったり、あるいは免税店でお買い物を楽しまれたりと次の寄港地・ケアンズに向かうまでの5日間の連続航海に備えて思い思いのお時間を過ごしました。

17時の出港を目前にしてプールサイドで催されたのが「サイパン ボン・ヴォヤージ～節分～」。鬼に扮したクルーが贈る、1日早い豆まきイベントです。力強く太鼓を轟かせて登場した鬼に向けて、鬼は外！ と一斉に豆を投げつけます。まだ接岸している最中に鬼を外に追い払うのは、せめてものやさしさでしょうか。

賑やかで笑いにあふれた豆まきイベントが終わりを迎える頃、スカイデッキに上がってみるとそこに見えたのは出港の様子を見守るお客様の姿。埠頭から見送る現地の人々に向けて別れを惜しむようにいつまでも手を振られていました。いつしか昼の暑さも和らぎ、心地よい潮風が私たちの船出をささやかに祝ってくれているようでした。





Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## “ダイヤモンド・ヴォイス”に酔いしれる夜

Date : 2018/02/03 緯度 : N 9度 40分 経度 : E 146度 15分 天気 : 曇り 気温 : 28.4度 速度 : 18.0ノット  
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



朝の目覚めが少し遅くなり、迷わずリドカフェ&リドガーデンの洋食ビュッフェへと足を運びました。「少し遅めの時間に行けばオムレツにイルカを描いてくれますよ」と知り合ったお客様から話を伺って以来、近々試してみようと考えていたのです。そして運ばれてきたのが写真のオムレツ。ケチャップのイルカがオムレツと並走しているようで愛らしいですね。

毎日さまざまなゲームが催されているクラブ2100は、○×ゲームで大盛り上がり。時間制限内に問題に対して○か×かで解答して勝ち残っていくのですが、みなさん博識でなかなか勝負がつきません。たとえばこの問題、おわかりになりますか？「タガログ語でマガンダは“こんにちは”の意味である」。正解は×。マガンダは“美人”の意味だそうです。

そして今宵のオンボードコンサートは、メジャーデビュー前にYouTube上にアップした英詞カバー動画が全世界で200万回再生を記録した歌姫JILLEさん。ピアノの伴奏のみというシンプルな構成で“ダイヤモンド・ヴォイス”と世界中で絶賛されたその伸びやかでキラキラと輝くような歌声を披露。またMCで垣間見せる宮崎弁のギャップでお客様の心をガッチリ射止めていました。



Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## 出会い多き日

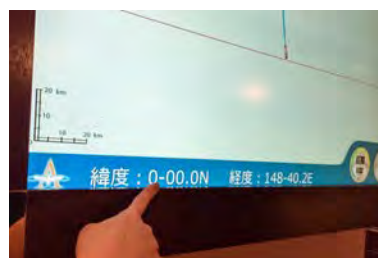
Date : 2018/02/04 緯度 : N 2度 15分 経度 : E 148度 2分 天気 : 曇り 気温 : 29.2度 速度 : 19.1ノット  
海域 : 赤道付近 寄港地 : 終日航海日



船内新聞で本日のスケジュールを確認すると、昼同時刻の各施設の予定がびっしり。ロングクルーズならではの県人会の開催がその理由です。「どちらのご出身で？」と話を切り出せば打ち解けるのもあっという間。名刺を交換し合うお客様も多く見られました。船長以下オフィサーも出身県に分かれて交流の輪に加わりましたが、九州出身者が多いことはちょっとした発見でした。

夕方にはお一人旅のお客様向けに「シングルス・パーティー」を開催。今回のクルーズでは約130名がお一人旅で、県人会とともに長い船旅で感動を分かち合う友と出会える貴重な場となったことでしょう。会の後半にはオフィサーとの夕食が楽しめる「オフィサーズテーブル」へのご招待が当たるくじ引きを実施。見事当選なさったお客様の歓声が会場のあちこちで湧き上がりました。

お客様の旅の楽しさがまたひとつ加わったこのよき日に、レセプション横のモニターに表示された航路図が、飛鳥IIの現在地が19時33分に北緯0度、つまり赤道に到達したことを示しました。事前に行われていた赤道通過時刻予想クイズの正解者は果たしていらっしゃったのか？明日夜の赤道通過祭での発表が楽しみです。





Cruise：2018年オセアニアグランドクルーズ（40）

## 笑顔あふれる赤道通過祭

Date：2018/02/05 緯度：S 3度 41分 経度：E 151度 39分 天気：曇り 気温：27.0度 速度：18.7ノット  
海域：赤道付近 寄港地：終日航海日



赤道通過から一夜明け、飛鳥IIはパプアニューギニアの沖合にあるビスマルク海へとその航路を進めました。あいにく朝から小雨混じりのどんよりとした天気で、南半球へやってきたという実感がしばらく湧きませんでしたが、午後になりセントジョージ海峡に差し掛かる頃には霞んだ景色の向こうに島々が見え始め、掴みどころのない大海原と比べると幾分安心感を覚えるようでした。

船内イベントも現在地を反映した内容のものが加わり旅の気分を盛り上げます。大入りだったのが南半球の星の世界を解説する「星空散歩」。“星の王子さま”こと小川クルーズディレクターによる軽妙洒落な星空トークを、お客様はのめり込むように聞き入っていました。星座観測は空の様子次第で適宜催行するとのことで、しばらくは夜の天気が気になりそうです。

そして今夜はお待ちかねの「赤道通過祭」。海神ネプチューンから赤道通過の許しを得るための伝統儀式を道化芝居化した赤道通過時の恒例イベントです。プールサイドにはオフィサーやクルーの熱演を間近で観ようとお客様が大集合。寸劇のあとにはこれまた恒例のパイ投げ&プール飛び込みが続き、演者もお客様も童心にかえたかのような無邪気な笑顔であふれた夜でした。



Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## コラボスイーツと瀬木貴将さんコンサート

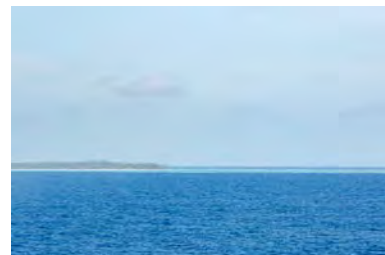
Date : 2018/02/06 緯度 : S 10度 26分 経度 : E 152度 11分 天気 : 晴れ 気温 : 28.9度 速度 : 18.6ノット  
海域 : ソロモン海 寄港地 : 終日航海日



ランチ後に訪れたのは11デッキのビスタラウンジ。国際的パティシエの長江桂子さんと飛鳥IIがコラボレーションしたスイーツがお目当てでした。レモンのフォンダンケーキ、エレガンスローズ、ミックスシリアルサブレ、見た目にも華やかな3種が並ぶ姿に思わずニンマリ。洋上の旅が続くなかひとつでも多くの楽しみを提供しようという心遣いはこんなところにも表れています。

そのまま午後のティータイムを楽しんでいると「ジョマード島が見えてきました」との突然の船内アナウンス。ジョマード島はパプアニューギニアのルイジアナ諸島東部に位置する島で、周囲を珊瑚礁の浅瀬で囲まれたその島の様子が船上からも確認できるとのこと！慌てて望遠レンズを取りに部屋に戻り、なんとかその姿をカメラに収めることに成功しました。この先はサンゴ海。ケアンズまでだいぶ近づいてきたようです。

夜は瀬木貴将さんのラスト・コンサートへ。南米の民族楽器であるサンポーニャとケーニャを自在に操る音楽家で、赤道通過祭ではネプチューンの大役も見事に演じられていました。そんな人気者の瀬木さんともケアンズでお別れ。巨大なバリトンサンポーニャを用いた『ゾウの行進』や、お客様からいただいたお題をもとに即興で作曲する「3分作曲クッキング」コーナーなど、45分間のショーの隅々まで多くの感動を与えてくださいました。



Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## 教室巡り

Date : 2018/02/07 緯度 : S 14度 25分 経度 : E 148度 42分 天気 : 雨 気温 : 27.0度 速度 : 13.7ノット  
海域 : 珊瑚海 寄港地 : 終日航海日



翌日に寄港を控えたケアンズは、グレートバリアリーフとクイーンズランドの湿潤熱帯地域、ふたつの世界自然遺産にアクセスできる観光地です。でもそもそも世界遺産って何？ そんな疑問に答えてくれたのが増田アシスタントクルーズディレクターによる「世界遺産への旅」。全体で約1000件の登録がある世界遺産のうち、自然遺産はわずか2割程度なのだそうです。ご存じでしたか？

オーストラリア入国に備えてパスポートを受け取ったその足で、次に向かったのは中川彩先生のオカリナ教室。初心者が多いと伺っていましたが、なかなかどうして皆様お上手！ これも中川先生の丁寧なレクチャーの賜物でしょうか。教室は今日を含めてあと3回で「最終回までには『アメージング・グレース』を演奏するのが目標」と中川先生。このまま頑張っていたきたいです。

一方でランチ営業を終えたりドカフェでは、コントラクト・ブリッジの初心者クラスが開催されていました。これは世界中に愛好者がいるトランプゲームの一種で、頭脳スポーツと呼ばれるように推理力や記憶力が問われる奥深いゲームでもあります。本来はゲーム中の私語は厳禁ですが、ここは初心者クラスということで和気あいあいとした雰囲気。笑顔も垣間見える楽しい教室でした。





Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## ケアンズ寄港

Date : 2018/02/08 緯度 : S 16度 56分 経度 : E 145度 47分 天気 : 曇り 気温 : 27.2度 速度 : 12.2ノット  
海域 : - 寄港地 : ケアンズ



朝の7時に船首の見えるデッキへ出向くと、バタバタと強い風にたなびく社旗の下でファーストオフィサーがじっと前方に目を凝らしていました。飛鳥Ⅱが着岸する岸壁はトリニティ湾を少し遡った位置にあり、ケアンズの街並みと緑で覆われた自然風景を両岸に眺めながらゆっくりと進んでいきます。ケアンズはサイパン以降、実に6日ぶりとなる寄港地です。

当地で筆者が参加したのは「高原列車で行くキュランダ1日観光」ツアー。ゴールドラッシュに沸いた19世紀末に開業したクラシカルな高原列車に乗り込み、ストーニークリーク滝やバロン滝といった風光明媚な車窓を楽しみながら約1時間半かけてキュランダ駅に到着。そこからさらにバスに乗り込みレインフォレステーションへ向かいます。

レインフォレステーションの目玉は水陸両用6輪駆動車・アーミーダックの体験乗車です。陸路と水路の分岐では乗車したお客様の満場一致で水路へ進入！ 熱帯雨林に囲まれた湿地帯を探検気分ですりまわりました。ランチはカンガルーやワニ肉を用いた野趣あふれるバーベキュー。「ワニ肉は淡白な鶏肉のようだねえ」と互いに味の品評をしながらの楽しい食事となりました。



**Cruise** : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## オセアニアデッキディナー

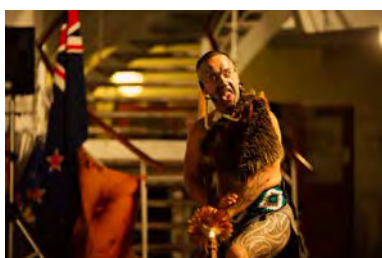
**Date** : 2018/02/09    **緯度** : S 19度 46分    **経度** : E 148度 28分    **天気** : 晴れ    **気温** : 26.5度    **速度** : 17.4ノット  
**海域** : タスマン海    **寄港地** : 終日航海日



ケアンズを出港してしばらくは外海を航海していた飛鳥Ⅱですが、今朝にはまたグレートバリアリーフの内側に戻ってきました。14時前には70以上の島々から構成されるウィットサンデー諸島を通過。エメラルドグリーンの海に浮かぶ自然豊かな島々を両舷に従えながら穏やかに次の寄港地であるシドニーへ向けて南下を続けます。

そして今夜はお待ちかねのデッキディナー。特別に用意されたのは羊やエミュー、ワニ、カンガルーといったオセアニア色たっぷりのお肉のバーベキューです。18時のスタートの合図でお客様が次々と来場するとあっという間にテーブルが埋まり、柔らかいオレンジ色の日差しに包まれた華やかな祝祭的空間が洋上に姿を現しました。

食事が一段落し、プールサイドの照明が点灯する時分になると、ライブ演奏やクルー&オフィサーによるエンターテイメントショーの幕開けです。圧巻だったのはマオリ族の伝統舞踊であるハカのショー。終了と同時に彼らと記念写真を撮ろうと長蛇の列ができるほどの盛り上がりで、クルーもお客様も興奮冷めやらぬなかパーティーは大盛況のうちに終わりを迎えました。





Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## 砂の島・フレーザー島

Date : 2018/02/10 緯度 : S 24度 8分 経度 : E 153度 11分 天気 : 晴れ 気温 : 25.0度 速度 : 16.6ノット  
海域 : 珊瑚海 寄港地 : 終日航海日



シドニー時間に合わせるため、午前2時に1時間の時刻改正が行われました。これにより日本との時差は2時間に広がり、筆者は深夜に手持ちの時計や電子機器の時刻を修正しました。間断なく移動を続けるロングクルーズでは、こういった何気ない作業のひとつひとつに「ああまたひとつ遠くまでやってきたのだな」とふと感慨を覚えたりします。

船内新聞「アスカデイリー」の一面では、今日の14時半に通過予定のフレーザー島を取り上げています。それは長い年月をかけて堆積された砂の島。南北123km、幅約25kmの島のほぼ全域がグレート・サンディ国立公園に指定、1992年にはユネスコの世界自然遺産にも登録されています。天候もよく船上からもしっかりとその白い砂浜を確認することができました。

そしてもうひとつ偶然のお楽しみも舞い込んできました。イルカの群れが現れたのです！ 船内放送を受けて大慌てでオープンデッキに出てじっと海面に目を凝らすと、うっすらと黒い影が水中に見え、時折海面をジャンプする姿も捉えました。昨日大盛り上がりを見せたハカの特別ワークショップも開催され、船内にも船外にも見どころのある充実した一日となりました。





Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## ロングクルーズならではの習い事

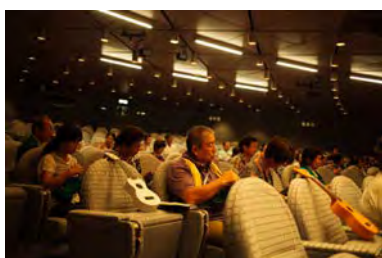
Date : 2018/02/11 緯度 : S 30度 15分 経度 : E 153度 34分 天気 : 晴れ 気温 : 25.0度 速度 : 15.8ノット  
海域 : 珊瑚海 寄港地 : 終日航海日



いよいよシドニー入港を明日朝に控え、お客様との何気ない会話のなかでも自然とその話題が増えてきました。船上からの海景はまだ大海原そのものでその実感を得るまでには至りませんが、船内に設置されたモニターなどで確認できる航路図ではシドニーが着実に近づいていることを把握でき、つい頻繁にその動向を気にしてしまう自分がいます。

一方、船内各所で催されているさまざまな教室はお客様の旅の一部としてすっかり定着しています。すでに第4回を数えたウクレレ教室では、旅の後半で発表会を開催することが突如告知されました。さらなる目標を得て練習するお客様の表情も真剣そのもの。「もう少し自主練習しなくちゃね」とウクレレを手に会場をあとにする姿はとてもハツラツとしていました。

真剣さであれば堤江美先生が担当する詩の朗読教室も負けてはいません。詩を朗読するという行為は一見単純そうに思えて、相手に伝わる発声法の基本はもちろん、どの詩を自らが選んで読み聞かせたいのかなど、普段は見過ごしがちな自身の体と心の両方に向き合う要素を秘めているようでした。こうした贅沢な時間の過ごし方もまたロングクルーズの魅力と言えます。



**Cruise** : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## オペラ・オーストラリア公演鑑賞

**Date** : 2018/02/12    **緯度** : S 33度 52分    **経度** : E 151度 11分    **天気** : 晴れ    **気温** : 24.8度    **速度** : 13.0ノット  
**海域** : -    **寄港地** : シドニー



朝7時、オープンデッキに足を運ぶとそこには既に多くのお客様の姿が見られました。お待ちかねはもちろん、世界三大美港のひとつに数えられるシドニー湾の入港風景です。タグボートに導かれて入り組んだ入江を左にゆっくりと旋回するとついにオペラハウスとシドニー・ハーバーブリッジにご対面！素敵な1枚をカメラに収めることはできたでしょうか？

夕方には今回のクルーズの特典であるオペラハウス専属歌劇団「オペラ・オーストラリア」公演鑑賞が控えていますが、多くのお客様は午前中から半日市内観光ツアーなどに参加。マクマホンズポイントやミセスマッコリー岬などを訪れ、入港時とはまた異なるシドニー湾の眺望を楽しみました。帰船後に服装の準備を整えたら、さあいよいよオペラ鑑賞へ出発です。

2007年に世界遺産に登録され、名実ともにシドニーの象徴であるオペラハウスでの鑑賞ということだけでも十分な体験に違いないのですが、今回は贅沢にも施設内のジョン・サザーランド劇場を貸し切り。4名の歌手が素晴らしい美声で有名曲を歌い聞かせる約1時間のコンサートはまさに夢心地でした。



Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## シドニー2日目

Date : 2018/02/13 緯度 : S 33度 52分 経度 : E 151度 11分 天気 : 晴れ 気温 : 25.0度 速度 : -ノット  
海域 : - 寄港地 : シドニー



シドニーは今回のクルーズで初となるオーバーステイ地。市内にお出かけするお客様も多かったのではないかと思います。飛鳥IIが着岸する岸壁は市内中心部から少し離れているため移動は無料シャトルバスが便利。筆者もお客様とご一緒させていただき、市内観光へと繰り出しました。

シャトルバスが到着したのはオーストラリア国立海洋博物館。施設脇に設置された飛鳥デスクのすすめを受け、すぐ目の前のピアumont橋を渡った先にある南半球第2位の高さを誇るシドニータワーや、「世界で最も美しいショッピングセンター」と言われるクイーンビクトリアビルディングなどを気ままに観光。多くの人で賑わう大都会シドニーの喧騒を満喫しました。

あっという間の2日間の滞在を終え、次の寄港地であるウェリントンへ向けて飛鳥IIは19時に出港。シドニー・ハーバーブリッジの下を通過する際に汽笛を三度鳴らしてシドニーの街へ感謝とお別れを告げます。橋上から手を振って船出を見送る人たちの粋なはからいに、大きく手を振りそれに応えるお客様の姿がとても印象的でした。





**Cruise** : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## バレンタインデー&フォーマルナイト

**Date** : 2018/02/14    **緯度** : S 36度 51分    **経度** : E 155度 41分    **天気** : 晴れ    **気温** : 21.8度    **速度** : 17.9ノット  
**海域** : タスマン海    **寄港地** : 終日航海日



本日2月14日は巷ではバレンタインデー。シドニーのショッピング街が大変賑わっていたのも、ひょっとするとバレンタインデー商戦の真っ只中だったからかもしれません。飛鳥II船内もバレンタインデーを意識してなのかどことなく祝祭ムード。日中に催されたバルーンアート教室では、お部屋の飾り付けにぴったりなバルーンフラワーを制作していました。

夕方、エレベーターホール周辺で正装をなさったお客様の姿を見かけるように。いよいよフォーマルナイトの時間です。ダイニングルーム前のアスカプラザでは多くのお客様が食前酒を片手に歓談されていて、一段とエレガントな雰囲気に包まれていました。フォトショップのスタッフもお客様の素敵な思い出を写し止めようと今夜は特に奮闘しています。

クルーから飛鳥IIのロゴマークが刻印されたチョコレートを受け取り、ダイニングへ。今夜のおすすめメインコースは「オーストラリア産サーモンのソテー メンドテールバターとレモン添え」。新鮮な生サーモンは西口雅浩総料理長自らがシドニーの市場で仕入れたもので、当地ならではの旬のシーフードを船上で味わうという、フォーマルナイトらしい贅沢なディナーでした。



Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## 佐治晴夫さん講演

Date : 2018/02/15 緯度 : S 41度 50分 経度 : E 163度 21分 天気 : 晴れ 気温 : 18.0度 速度 : 18.6ノット  
海域 : タスマン海 寄港地 : 終日航海日



今朝の最低気温は18度。オープンデッキに立つとシドニーでの吹き出す汗が嘘のように空気が肌寒く感じられます。現在航行中のタスマン海のその先には南極があるのだなあとほんやり考えて、ふとその視座が地球規模になっていることに気づき思わず苦笑してしまいました。クルーズの旅というロマンあふれる日々が、普段とは異なる心の作用を生んでいるのかもしれない。

そんな私たちの旅にさらに知的好奇心の風を送り込んでくれたのが、日本を代表する理論物理学者の佐治晴夫さんの「美しい人生の暦をつくるために 一時間の不思議と向き合う」と題された講演です。時間という誰しも関わりのある話題を糸口に、物理学や心理学、さらには人生哲学にまで広がりをもせたそのお話は多くの示唆に富み、また人生の希望にあふれていました。

午後にはゲストシェフの山下春幸さんによる料理教室を開催。家庭でも簡単につくることのできる新感覚の「小芋のポタージュ」と「マグロ漬けちらし」の2品を試食付きでご紹介いただきました。またリドカフェではシドニーで仕入れたタスマニアンチェリーを添えたクレープを発見！ 昨夜に続きこんなところにも寄港地の恵みが顔を覗かせていました。



Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## フィヨルド通航

Date : 2018/02/16 緯度 : S 44度 20分 経度 : E 167度 48分 天気 : 雨 気温 : 18.2度 速度 : 12.7ノット  
海域 : フィヨルド通航 寄港地 : 終日航海日



いよいよ今回のクルーズのハイライトであるフィヨルド通航の日を迎えました。世界遺産にも登録されているここニュージーランドのフィヨルドランド国立公園は大小14のフィヨルドから成りますが、私たちが向かうのはそのなかでも第一級の景観を誇るミルフォード・サウンド。タスマン海から15km内陸まで続き、1200m以上の断崖絶壁に囲まれたフィヨルドです。

朝8時15分、フィヨルドの入口となるデール・ポイントを通過。アザラシの生息地や最大落差1000mの滝など息を呑むような絶景が次々と現れてお客様の目を楽しませてくれました。一年の半分以上が雨と言われる通り時折小雨が混じる天候のなか、船内ではフィヨルド通航を祝ってクルーが羊の格好で練り歩き、早朝から忙しく動き回るお客様の心を和ませていました。

壮大な景観美を堪能した夜は、心に響く音楽で内なる旅を楽しみます。今夜はケアンズから乗船している女性邦楽ユニット・綾音IIの最終公演。普段の船内では飾らぬ笑顔をお客様に振りまいていた彼女たちでしたが、ステージ上の和装姿から醸し出されるのは凛とした美しさ。艶やかな舞踊とともに助六や娘道成寺などの長唄を披露してくださいました。





Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## 山下春幸シェフのスペシャルディナー

Date : 2018/02/17 緯度 : S 40度 22分 経度 : E 173度 34分 天気 : 曇り 気温 : 21.2度 速度 : 15.6ノット  
海域 : タスマン海 寄港地 : 終日航海日



午前中にまず足を運んだのはハリウッドシアター。堤江実先生の詩の朗読発表会にお邪魔しました。お客様それぞれが一編の詩を選び、思いを告げてから読み上げるというもので、たとえそれが同じ詩であっても読み手が変わる度に新しい発見に満ちていて詩の力を改めて実感させられました。ステージ上での堂々とした立ち居振る舞いもさすが人生の諸先輩方といったところです。

もうひとつ、パノス・カランさんによるピアノコンサートもまた感動的なパフォーマンスでした。たどたどしい日本語のMCを経てピアノの前に着席すると、まさに踊るような指先でブラームスやチャイコフスキーといったロマン派と呼ばれる名曲の数々を演奏。45分間という時間の中でひとつの物語を紡いでいるようで、一挙一動も見逃せない素晴らしいステージでした。

そして先日の料理教室から俄然注目を集めたのが、「HAL YAMASHITA 東京」などのエグゼクティブ・オーナーシェフである山下春幸さんの特別ディナー。メインの「黒毛和牛炙りローストビーフ 和三盆のすき焼きソース」を始め、提唱する「新和食」を体現した伝統と革新を融合させた一連の料理は、新たな味覚の扉を開いてくれるような心地よい刺激に満ちていました。



Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## 初寄港・ウェリントン

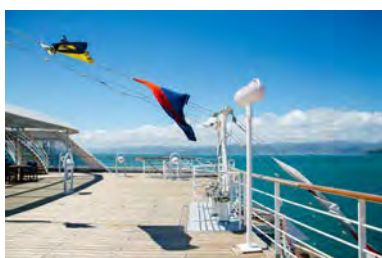
Date : 2018/02/18 緯度 : S 41度 16分 経度 : E 174度 47分 天気 : 晴れ 気温 : 22.5度 速度 : -ノット  
海域 : - 寄港地 : ウェリントン



フィヨルド通航の余韻も冷めやらぬまま次に訪問したのが飛鳥II初寄港となるウェリントン。ニュージーランドの首都であり、また世界最南端の首都でもあります。8時半に着岸したアオテア・キーからの風景を撮影しようとオープンデッキに出ると、ものすごい風！あとで聞いた話ではここは「Windy Wellington」と呼ばれる風の街でもあったそうです。

今日もお客様の市内半日観光に同伴して街の見どころを巡りました。ハイライトは平地の少ないウェリントンを象徴する赤いケーブルカーへの乗車。街の中心部から展望台のあるケルバーンまでを結ぶ路線で、1902年の開業以来市民の足として利用されています。その後はビクトリア山展望台や国会議事堂などを訪れ、ウェリントンが誇る自然と文化両方の魅力に触れました。

定刻通り夕方17時に出港した飛鳥IIは、明後日のオークランド入港に向けて北島の東岸沿いにその針路を定めます。ギャラクシーラウンジでは次港で下船となるコーラスグループのベイビー・ブーがラストコンサートを開催。お客様と共有した貴重な時間を振り返った曲間のトークからは、彼らにとってもまた飛鳥IIの舞台が特別であることが伝わってくるようでした。



Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## 中一日の終日航海

Date : 2018/02/19 緯度 : S 37度 40分 経度 : E 178度 51分 天気 : 晴れ 気温 : 22.0度 速度 : 18.4ノット  
海域 : 南太平洋 寄港地 : 終日航海日



シドニーに続き2カ所目のオーバーナイトステイ地であるオークランドを明日に迎え、遅ればせながらこの旅も折り返しといった気分になってきました。昼食には山下春幸ゲストシェフによる「新和食」が再登場。卓上で火を通して味わう「オーストラリア産 和牛しゃぶ 赤味噌ビーフシチュー」をいただき、来たるオークランドに向けて英気を養います。

午前中には昨夜大好評だったベイビー・ブーさんによるうたごえ喫茶「うたいましよう」を訪問。会場は同じくギャラクシーラウンジですが、今日の主役はお客様。ピアノの伴奏に合わせて『この広い野原いっぱい』やオリジナル曲『花が咲く日は』などを合唱しました。「昭和の曲って本当にいいわねえ」と、終了後にひとりのお客様が筆者にしみじみと話しかけてくださいました。

ほかにも格安で飛鳥II自慢のお酒を手に入れるべく盛り上がった「ASUKAオークション」や、ルーレットやブラックジャック、スロットでカジノの腕を競い合う「カジノKING決定戦」など、変わり種なイベントも多く開催されていました。夜にはお客様ご自身のエントリーによる歌や詩吟の発表会も。今日の船内は一日中お客様の笑顔で包まれていました。





Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## オークランド1日目

Date : 2018/02/20 緯度 : S 36度 50分 経度 : E 174度 46分 天気 : 曇り 気温 : 26.2度 速度 : 13.4ノット  
海域 : - 寄港地 : オークランド



水先案内人を乗せたタグボートを撮影しようと少し早めにオープンデッキに足を運ぶと、先客のお客様が何やらざわついている様子。前を見ると遥かタグボートの後ろに大きな虹がかかっているではありませんか！「今日はいいいことありそうだねえ」とお客様と談笑しながら、その後徐々に近づいてくるオークランドの街並みをずっと眺めていました。

入港したプリンセスワーフが位置するのは街の中心部。徒歩圏内にショッピングスポットが軒を連ね、ここオークランドでは自由行動を楽しまれたお客様も特に多かったのではないのでしょうか。筆者は飛鳥IIから街のシンボルであるスカイタワーがよく見えたことが気になり、もしや？と日没を狙って地上220mにあるスカイタワーの展望台へと出掛けました。

果たしてその読みは大当たり！ビル群の先に飛鳥IIを見つけました。他国からの観光客に混じって美しい街夜景の一部となった飛鳥IIを眺めていると、人知れず誇らしさを覚えてしまいます。そのままレストランやバーがひしめくウォーターフロントを冷やかし歩き。日中のほとぼりの冷めた潮風が心地よく、オークランドの夜は遅くまで盛り上がりを見せていました。



Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## オークランド2日目

Date : 2018/02/21 緯度 : S 36度 50分 経度 : E 174度 46分 天気 : 晴れ 気温 : 22.5度 速度 : -ノット  
海域 : - 寄港地 : オークランド



朝早く起床して寝ぼけ眼でカーテンを開けると目に飛び込んできたのは岸壁に建つホテルの客室。借景のごとく入れ替わり立ち変わり現れる窓越しの風景もまたクルーズ旅の楽しみのひとつですが、たまにはこんな風変わりな景色も面白いものです。と同時にホテル客にとっても昨日から突如現れた“お向かいさん”に戸惑いはないものか、無用な心配をしてしまいます。

さて今日は午前中にツアーに参加して眺望を楽しめるサベージ記念公園、南半球最大級のオークランド博物館、温室や庭園を備えたウィンターガーデンといった観光スポットへ足を延ばしました。朝からぐずづついていた天気も午後には回復し、もう一度街の散策へ。地元客に混じってカフェで一息ついて、少しだけ“キーウィ（ニュージーランド人の愛称）”気分になりました。

出港時間と前後して、ギャラクシーラウンジでは飛鳥II専属マジシャンTAKUYAさんによるイリュージョンショー「LOST IN TIME」を開催。まるでラスベガスを思わせるような華やかさに満ちたそのショーは、次なる寄港地・ニューカレドニアのヌーメアに向けた船出を祝うにぴったりで、旅の充足感を抱きながら私たちはオークランドの街をあとにしました。



Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## 夜のお楽しみ

Date : 2018/02/22 緯度 : S 32度 30分 経度 : E 172度 55分 天気 : 晴れ 気温 : 22.4度 速度 : 17.7ノット  
海域 : 南太平洋 寄港地 : 終日航海日



夜半過ぎに行われた時刻改正はこれまでとは逆の後進。明日夜にも再び時刻を遅らせるそうで、これからは徐々に日本に近づいていくのだなあと実感が湧いてきます。日中は佐治晴夫さんの第2回講演やタガログ語教室などが開催されましたが、今日は特に普段とはひと味違う“夜の部”がポイント。まずは「美ら唄海流」と題された琉球音楽ライブのあるパームコートへ。

ステージ上に立つのはフィリピン人バンドのナマナに三線担当の増田アシスタントクルーズディレクターが加わったスペシャルバンド。「沖縄出身の方々もいらっしゃいますのでどうぞお手柔らかに」と謙虚に演奏が始まりましたが、あっという間に会場は大盛り上がり。我も我もとステージ前で踊りだす賑やかで楽しい時間となりました。

その足で向かったのは佐治さんの解説による星空観測会。あの佐治さんにとっても5指に入るという恵まれた条件で、南十字星や天の川も肉眼ではっきり！ 筆者は流れ星も観測できました。星空解説もさながら第3回の特別講演といった充実ぶりで、参加されたお客様は熱心にその話に耳を傾けながら満天の星空を思い思いに眺めていらっしゃいました。





Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## 娯楽の彩り

Date : 2018/02/23 緯度 : S 25度 27分 経度 : E 168度 25分 天気 : 曇り 気温 : 26.0度 速度 : 18.4ノット  
海域 : 南太平洋 寄港地 : 終日航海日



先日の「カジノKING決定戦」の盛り上がりを受け、今日午後で開催されたポーカー教室も盛況の様子。世界で流行中のテキサスホールデムを習おうと多くのお客様がご覧になりました。お相手は先日交代したばかりの吉田ホテルマネージャーや昨夜の立役者・増田アシスタントクルーズディレクター。こうしたクルーやオフィサーとの距離の近さが飛鳥IIの魅力でもあります。

賑やかなポーカー教室から一転、詩人・堤江実さん自らによる詩の朗読が行われていたパームコートにはまた別種の空気が流れていました。BGMとともに朗読される詩はたおやかながらも一筋の糸がピンと張ったような緊張感が内在し、お客様も無意識にそれを感じ取っているのか、お茶をすすめる手をひととき止めてじっと聞き入っている姿が印象的でした。

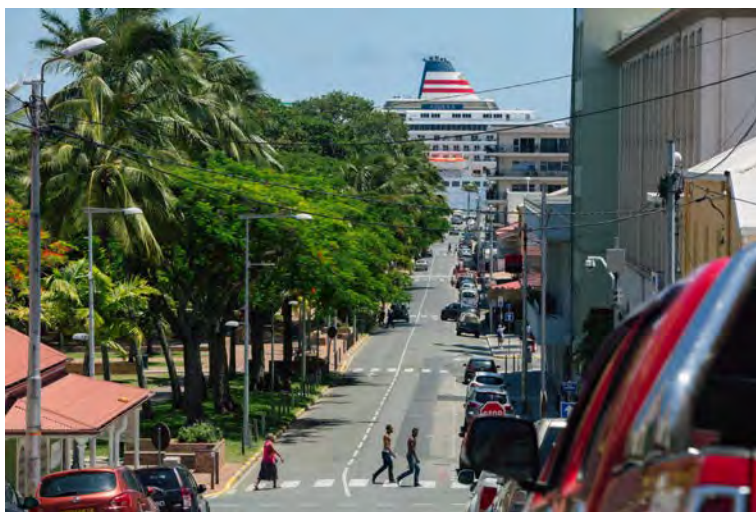
そしてインフォーマルナイトを彩るのはヴァイオリン・江口有香さん、チェロ・斎藤静さん、ピアノ・津嶋啓一さんによるピアノトリオコンサート。変幻自在に奏でる優雅な音色を耳をすすぐ思いで拝聴したあとは、お待ちかね、舌が喜ぶ豪華な夕食へ。西口雅浩総料理長の祖父にあたる帝国ホテルの筒井福夫シェフが考案した“直伝の”シャリアピンステーキを堪能しました。



Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## 南太平洋のフランス・ヌーメア

Date : 2018/02/24 緯度 : S 22度 16分 経度 : E 166度 26分 天気 : 晴れ 気温 : 29.0度 速度 : 14.0ノット  
海域 : - 寄港地 : ヌーメア



筆者にとって「天国に一番近い島」として知られるニューカレドニアは人生で初めて訪問する国。先日通航したフィヨルドもそうですが、飛鳥IIに乗船していなければこの先もどれだけ機会があったらうかと考えると、旅の途上でそういった国や都市、地域を訪れることができるというのはクルーズの大きな魅力のひとつだと改めて実感します。

この国はフランス領であることから公用語もフランス語。街並みもどことなく南仏のリゾート地を思わせませす。ヌーメアから足を延ばせば海の宝石箱と呼ばれるイルデパン島や白亜の灯台で有名なアメデ島もありますが、車窓から眺めたアンスバタビーチの美しさもなかなかのもの。休日ということもあり海水浴やサーフィンを楽しむ市民や観光客で賑わいを見せていました。

午前中のツアーに参加して朝市やニューカレドニア博物館、FOLの丘といったスポットを巡ったあとは、港のそばのレストランでランチ。まさかこんな南の島でフランス風クレープのガレットにまでお目にかかれるとは思いませんでした。白地図に少しでも色彩が乗ったような新鮮な感情を胸に宿し、さあ残す寄港地グアムに向けていよいよ出港です。



Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## 暑さふたたび

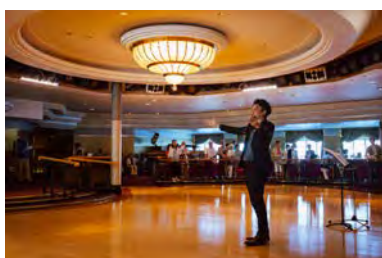
Date : 2018/02/25 緯度 : S 18度 39分 経度 : E 162度 15分 天気 : 晴れ 気温 : 29.0度 速度 : 18.5ノット  
海域 : 珊瑚海 寄港地 : 終日航海日



昨日からじっとりとした湿度を感じるようになりましたが、今日はそれに輪をかけて真夏のような暑さ。わずか10日前の冷え込みが嘘のようです。照り返しの激しいオープンデッキを歩いていると、船首で海鳥が羽を休めている姿を見かけました。彼らにとってもこの暑さは辛いのか、それとただ魚群を狙っているのかは分かりませんが、それにしても優雅な無賃乗船です。

全8回構成のコーラス教室は今日で5回目。会場いっぱいのお客様がその人気を物語りますが、今回は明日の飛鳥IIバースデーイベントで特別に歌を披露するらしいと聞きつけてお邪魔してきました。河野浩亮先生の和やかな指導のもと、上下パートに分かれての練習も難なく終了。あとは自信をもって本番に臨むだけといった様子です。頑張ってください！

そして今宵は平賀マリカさんのJazzコンサートを鑑賞。平賀さんの艶やかでスイング感あふれる声はまるで荒武裕一郎さんのピアノと三嶋大輝さんのベースと並ぶ第3の楽器を演奏しているような魅力に満ちていました。続けて足を運んだTAKUYAさんのマジックルームの特別感も相まって、カジュアルナイトながら贅沢な一夜となりました。





Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## 飛鳥IIバースデー

Date : 2018/02/26 緯度 : S 12度 38分 経度 : E 157度 30分 天気 : 晴れ 気温 : 29.5度 速度 : 18.9ノット  
海域 : 珊瑚海 寄港地 : 終日航海日



通常は寄港地情報や航海の豆知識などを綴っているアスカデイリーの一面ですが、今日2月26日は飛鳥IIの就航12周年ということで堤船長の挨拶文が掲載されていました。年間を通じてさまざまなイベントが飛鳥IIの航海を彩りますが、そのなかでも特に重要な一日が今日であることに違いありません。その日に立ち会えることを筆者自身も嬉しく思っています。

プールサイドは夕方からデッキディナーの準備に追われていましたが、一方ほかでは山本正人先生の囲碁教室をはじめいつも変わらずアクティビティを開催中。中川先生から門真帆先生に引き継がれたオカリナ教室は、来月の発表会に向けて1回目の復習教室。少し期間は空きましたが自主練習の成果はバッチリと見えて、門先生も驚くほどの出来を披露していました。

パーティー帽を身に着けたお客様が今か今かと待ちわびる夕方18時、徐々に涼しさを取り戻すプールサイドでいよいよパーティーの幕開け！ パエリアやガーリックシュリンプなどの豪勢な食事に、河野先生の独唱やコーラス教室によるバースデーソングの合唱といった催し物も大好評。最後は飛鳥IIスタッフも大集結し、全員がひとつになってこの特別な日を祝いました。



Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## 影が消える瞬間

Date : 2018/02/27 緯度 : S 6度 54分 経度 : E 154度 33分 天気 : 晴れ 気温 : 28.0度 速度 : 16.1ノット  
海域 : ソロモン海 寄港地 : 終日航海日



12時42分、「影が消える」瞬間を確かめようと、暑さ厳しい真昼のプールサイドにお客様が続々と集まってきました。これは南北23度26分の緯度に挟まれた地域で太陽が真上を通過する際に起こる現象で、消えるというよりも正しくは「真下に影が落ちる」わけですが、この束の間の不思議体験を楽しもうとみな水のペットボトルを持ち出しての記念撮影に夢中でした。

終日航海が続く日々では日中の船内生活をどう充実させるかがポイントになってきます。お客様同士の「今日はどの教室に行くの？」という会話を耳にすることも日常茶飯事です。午後のウクレレ教室では堤船長の姿もお見かけしました。小川クルーズディレクターいわく3日間連続の参加だそうで、これは来月4日の発表会も期待できるかも？かもしれません。

スツールのアレンジ方法を教えるファッション教室、そして夜のギャラクシーラウンジでの鳥塚しげきさんの昭和歌謡コンサートと今日もイベントは盛りだくさん。一方で深夜のザ・ビストロでは就寝前にくつろぐお客様の姿をお見かけしたりと、イベントのみならずそれぞれに楽しみを見つけて快適に船内生活を満喫していらっしゃるようでした。



Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## 赤道通過、北半球再び

Date : 2018/02/28 緯度 : S 1度 20分 経度 : E 151度 34分 天気 : 晴れ 気温 : 30.0度 速度 : 16.1ノット  
海域 : 南太平洋 寄港地 : 終日航海日



ハリウッドシアターのステージ中央には高座がひとつ。「早朝寄せなんてのもありますが、日本時間でまだ朝8時。こんなに早いのは初めての経験でございますな」と小気味のいい枕で三遊亭金時師匠の落語会が幕を開けました。演目は火の番に回った江戸の男たちの一夜を描いた「二番煎じ」。一瞬にしてお客様の心に江戸の夜を投影させるその話芸の見事さは言うに及びません。

飛鳥IIでは歌やダンス、ゲームなど体を動かすアクティビティが充実していますが、なかでも手先を使って楽しめるのがクラフト教室。これまで花のポッドやビーズの帽子止めなどの小物を制作してきましたが、今日はカラフルな樹脂粘土を使用した飛鳥IIオリジナルポストカード作りに挑戦中。実際に投函も可能ということで、作業の手にも気合いが入っていたようです。

夕方、ふらりとオープンデッキに出ると何の変哲もない曇り空に向かってカシャリと1枚、カメラのシャッターを切りました。17時5分、赤道通過。これより飛鳥IIは再び北半球を航海することになります。「海の上に赤い線なんてありませんでしたねえ」と隣り合わせたお客様と冗談を交わしながらも、水平線のさらに先にはぼんやりと日本の姿が見えてくるようでした。





Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## ブリッジ (操舵室) オープン

Date : 2018/03/01 緯度 : N 5度 14分 経度 : E 147度 55分 天気 : 晴れ 気温 : 29.0度 速度 : 18.0ノット  
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



前夜に時計の針を1時間後進させ、最大4時間もあった日本との時差がついに1時間にまで縮まりました。暦も3月に入り、残す寄港地は3日のグアムのみ。少しずつ旅の終わりに向かって航海が続くなか、堤船長から朝の挨拶で「このオセアニアクルーズのご乗船に感謝の気持ちを込めて本日ブリッジ (操舵室) をオープンします」とアナウンスが入りました。

予定時刻より少し前にブリッジのある10デッキへ出向くと、そこにはすでに長蛇の列。滅多にはない機会とあって、お客様もずいぶんと楽しみにしているご様子です。ブリッジでは堤船長以下、飛鳥IIの運航に携わるクルーのみなさんが直々に室内を案内。機材の操作方法の説明を受けたりユニフォームを着用して記念撮影したりと、大変貴重な体験となりました。

午後からは小川クルーズディレクター率いるエンターテイメントチームが大活躍。映画史に残る名作の題材となった豪華客船タイタニック号の沈没の秘密に迫る「タイタニックの真実 (なぞ)」や、ハワイアンや沖縄の曲を華麗なダンスとともにお届けする「南国ミュージックタイム」など、自らがパフォーマーとなって終日航海の一日に華を添えていました。



Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## トロピカルカジノ開催

Date : 2018/03/02 緯度 : N 9度 57分 経度 : E 145度 46分 天気 : 晴れ 気温 : 28.5度 速度 : 13.0ノット  
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



船内で催されてきた各種教室・アクティビティがクルーズ終盤に向け集大成を迎えるなか、筆者が担当する写真教室も全4回の講義を今日無事終了いたしました。最終回はお客様の写真作品を講評しましたが、いずれも力作ぞろいで気持ちの込もったものばかり。改めて感謝いたしますとともにぜひその情熱を忘れぬまま、引き続き写真を楽しんでいただければと願っています。

一方クラブ2100では盆踊りとフォークダンス教室が他教室の先陣を切って発表会を開催。掛け持ちしている方も多かったようで、汗をひと拭いしながらさっと給水し、疲れた様子も見せずに次の演舞に勇んで向かう姿は本当にご立派でした。発表会終了後の記念撮影に臨むお客様のお顔からは、充実感に満ちていらっしゃる様子がうかがえました。

そして空が美しい夕焼けを演出する時分、レセプション前のアスカプラザはカジノコーナーに大変身。ルーレットやブラックジャックといった定番に加え、閑取の勝敗を予想する「大相撲飛鳥場所」といった趣向を凝らしたゲームが勢揃い。カジノコーナーのスタッフのほか堤船長をはじめとしたオフィサー陣もディーラーに扮し、一夜限りのカジノパーティーは大盛況でした。



Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## グアム寄港&ひな祭り

Date : 2018/03/03 緯度 : N 13度 28分 経度 : E 144度 40分 天気 : 晴れ 気温 : 28.6度 速度 : 11.9ノット  
海域 : - 寄港地 : グアム



朝6時、水先案内人を乗せた飛鳥IIはグアムを目指し、朝焼けで一面ピンク色に染まった海上をゆっくりと前進します。写真を数枚撮った頃にはすっかり夜は明け、それと入れ替わるように前方にはグアム島がはっきりとその姿を現しました。着岸後に朝食と入国審査を済ませ、さっそくツアーバスに乗り込んで最後の寄港地・グアムの見どころ巡りに繰り出します。

今回参加した一日ツアーのハイライトはイルカウォッチング。バスからクルーザーに乗り換えて十数分、遭遇率90%という前評判通り、野生のイルカの群れを発見！ 私たちと戯れるかのように前に横にと現れては、華麗な泳ぎとジャンプを披露してくれました。その後は海中展望塔を経て島中心部・タモン地区に移動し、ロブスター&ステーキのコース料理で締めくくりました。

空き時間でビーチも散策し、盛りだくさんの思い出とともにグアムをあとにしましたが、今日はそれで終わりません。そう3月3日はひな祭り。数日前から船内各所に飾り付けられたひな人形が気分を盛り上げてきましたが、満を持して今夜はひな祭り特別仕様のディナーが登場。食べてしまうのがもったいないくらいの華やかな料理に、文字通り目も舌も満たされたのでした。





Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## 教室発表会

Date : 2018/03/04 緯度 : N 18度 57分 経度 : E 143度 36分 天気 : 晴れ 気温 : 26.5度 速度 : 17.8ノット  
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



普段は一流のエンターテイナーによる歌や踊りを鑑賞する場であるギャラクシーラウンジですが、今日の主役はお客様。今回のクルーズの集大成、ウクレレ、フラ、オカリナ教室、そして昭和を歌う同好会による合同発表会の開催です。晴れの舞台に臨むお客様の一挙一動から、この発表会に向けて一生懸命に練習を積み重ねてきた様子が伝わってくるようでした。

その他日中に催されたイベントも、いつもとはひと味違う内容のものが勢揃い。カジノスタッフが寄港地で買い集めた記念品が当たるルーレットビンゴにはフィットネスインストラクターの西村さん、今村チーフパーサー、そして堤船長がゲストディーラーとして参加。またギネス世界記録挑戦イベントでは船体の揺れと格闘しながらトイレットペーパー積みに挑んでいました。

アスカプラザでは、コーラス教室が第九『歓喜の歌』の合唱を披露。ちょうどお客様で賑わうディナータイムとあり、吹き抜けの階段や6デッキも詰めかけた観客ですぐに埋まる盛況ぶり。全8回にも及んだ教室の成果を存分に発揮し、河野先生の指揮、門先生のピアノ伴奏に合わせて声をひとつに見事に歌い上げ、各教室による連日の発表会のトリを飾りました。



**Cruise** : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## キャプテンズ・フェアウェル・パーティー

**Date** : 2018/03/05    **緯度** : N 25度 52分    **経度** : E 142度 27分    **天気** : 晴れ    **気温** : 22度    **速度** : 17.4ノット

**海域** : 太平洋    **寄港地** : 終日航海日



昨夜から日本の排他的経済水域、つまり日本沿岸から200海里の海域に入った飛鳥IIは順調に航行し、今日の午前中にはついに小笠原諸島の母島を北に捉えるところまでやって来ました。日本国内で考えれば小笠原諸島も十分に“南国”ですが、早朝の空気はひんやりとしていてヌーメアやグアムで感じたそれとの違いを比較せずにはいられません。

ゆったりとした雰囲気が漂っていた午後、船内に「クジラが見られます」とブリッジからの突然のアナウンス。望遠レンズを手に一目散に12デッキへ向かうと、まだ距離はありましたが母島を背に何度も潮を吹くクジラの姿を確認！ 今回のクルーズ最後のフォーマルナイトを控えて、まるで私たちの旅のフィナーレをサプライズで祝ってくれているようでした。

そして夕方にはキャプテンズ・フェアウェル・パーティーを開催。ギャラクシーラウンジ前には堤船長を目当てにお客様が列を成し、今日までの安全な航行に対する感謝の言葉をお掛けしながら記念撮影に興じていました。ディナー後には今井俊輔、又吉秀樹、石上朋美、多田聡子さんによるオペラコンサートもあり、フィナーレを飾る宴が遅くまで続く特別な夜となりました。



Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## 横浜前夜

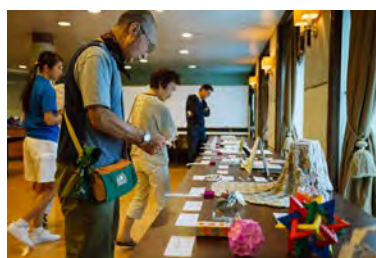
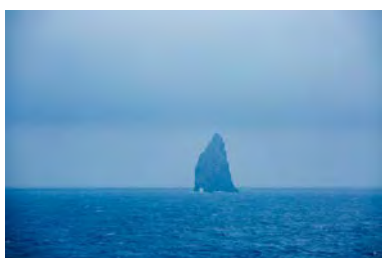
Date : 2018/03/06 緯度 : N 31度 7分 経度 : E 140度 2分 天気 : 雨 気温 : 19.0度 速度 : 14.2ノット  
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



今朝の撮影は伊豆諸島南端の海上にポツンと顔を出した嬌婦（そうふ）岩から始まりました。未亡人を意味するこの岩は、神の命令に背いたためにイスラエルの死海のほとりで塩柱に姿を変えられてしまったという旧約聖書の「ロトの妻」の話から転じて和名がついたもので、かのジョン万次郎もこの岩を「Lot's wife（ロトの妻）」と英文で書き残しているそうです。

未明に最後の時刻改正を終えてようやく日本との時差がなくなった船内では、いよいよ旅仕舞いを意識せずにはいられません。午前中にはギャラクシーラウンジとハリウッドシアター両会場でのビンゴ大会、午後にはお客様の創作作品を展示する飛鳥II芸術展など楽しいイベントが催されましたが、一方で終えるごとにひとつものが片付いていくような寂寥感が募ります。

そんな気分になるのもこれまでの旅が素晴らしかったからこそ。そしてその時間と空間をずっと支えてくれた乗組員一同による最後の演目が2018年オセアニアグランドクルーズ クルーショーでした。シニアオフィサーによる社交ダンスで横浜前夜は華やかに幕を閉じ、この旅をつくってきたのは紛れもなく“人”の力なのだなと思いながら筆者は会場をあとにしました。





Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## 横浜帰着

Date : 2018/03/07 緯度 : N 35度 27分 経度 : E 139度 39分 天気 : 晴れ 気温 : 7.5度 速度 : 13.5ノット  
海域 : - 寄港地 : 横浜



クルーズ中の密かな楽しみが、船内新聞「アスカデイリー」の「船上茶飯事」というミニコラムでした。毎回書き手が変わり、今日は増田アシスタントクルーズディレクターの回。「クルーズを経ると気温の変化は季節ではなく緯度の変化として感じるようになる」との言葉に思わず膝を打ち、それと同時に日本という小さな島国の四季の愛おしさに思いを馳せました。

「日本は寒いねえ」と互いに声を掛け合いながら、入港風景を一目見ようとベイブリッジの手前で大勢のお客様がオープンデッキに集まりました。あいにくの曇り空でしたが、橋の下を通過する時のざわめきはどこかシドニーのハーバーブリッジを思い起こさせて、遠く横浜で不意によぎったその既視感になぜだかひとり可笑しさがこみ上げて来るのでした。

船内のモニターに映し出された広域航路図がひとつの輪を描いた午前9時、飛鳥IIは予定通り横浜港へ入港。午後14時には船は再び出港し、残る神戸発着のお客様を乗せて最後の航海を開始しました。静けさを引き連れた午後の船内は全力で駆け抜けたあとの緩やかな惰走といった心地で、期せずして来たる日常に向けて心と体を整える格好の時間となりました。



Cruise : 2018年オセアニアグランドクルーズ (40)

## 最終日・神戸へ

Date : 2018/03/08 緯度 : N 34度 32分 経度 : E 135度 38分 天気 : 雨 気温 : 10.5度 速度 : 15.9ノット  
海域 : - 寄港地 : 神戸



夜明けから紀伊半島の海岸線が右舷側に途切れることなく続き、飛鳥IIは目指す大阪湾に向けてゆっくりと航海を続けていました。入港予定時刻は14時。到着後のことを気にしているのか室内のテレビでつい航路図に見入ってしまう自分に気づき、このクルーズでお気に入りの場所となったザ・ビストロに向いて一杯のコーヒーを注文し、はやる気を紛らわせます。

最後のアクティビティとなるサンクスアワー<CSクイズ>では、これまで毎日さまざまなエンターテイメントを提供してくれたクルーズスタッフ自らがクイズを出題。その後パームコートで催された入港パーティーでもその和やかな雰囲気は引き継がれ、笑顔いっぱい感謝とお別れのメッセージをお客様同士、そしてクルーとお客様とで交わしていました。

パーティーを終えた船首のビスタラウンジではおそらくこのクルーズで知り合ったのであろうお客様方が窓越しの風景を眺めながら日本での話に花を咲かせていて、そこからオープンデッキに移動して眼下を覗くと、小雨まじりのなか飛鳥IIを背にいそいそと記念撮影に興じる通行人の姿が小さく見えました。飛鳥IIは今まさに神戸港に着岸。39日間にわたる「2018年オセアニアグランドクルーズ」はこれにて完結です。

